

# 第17回福岡市史講演会

# 西島伊三雄 都市福岡の デザイン

令和5年3月4日(土)  
開演 午後1時(開場 午後12時30分)  
会場 福岡市博物館 講堂  
定員 240名 / 入場無料 ※事前申し込みが必要です。



※ お申し込みが多数の場合には、抽選にて参加者を決定させていただきます。

※ 当日の様子は後日インターネットにて公開予定です。(福岡市博物館公式 YouTube チャンネル)

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、プログラムの変更やインターネットでの配信のみの実施に変更する場合があります。変更については福岡市史や福岡市博物館のホームページ等でお知らせいたします。

講演会のお申し込みはこちら▶



福岡市博物館公式YouTubeチャンネル▶



## 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

### 手指の消毒



福岡市博物館の入口にて検温・手指消毒のご協力をお願いします

### マスク着用



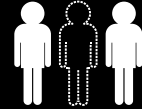
ご入場の際にはマスクの着用にご協力ください

### 定期的な換気



会場後方の入口は常に開放し、換気を行った状態で実施します

### 人数制限



出入り時の密を避けるため、入退場は係員の指示に従ってください

以下の事項に該当する場合は、参加はご遠慮ください

- ・ 発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合
- ・ 新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方、または陽性者と濃厚接触がある場合
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

主催 福岡市博物館 市史編さん室

共催 福岡市史編集委員会

## いま「西島伊三雄」を考えるとということ



昭和20～30年代にかけて、天神・博多地区を中心とした福岡の都市部は戦後の復興とともに都市として大きな変貌を遂げました。その後、昭和47年には福岡市が政令指定都市となり、また山陽新幹線も開通し、まちは自己（「博多」）のアイデンティティを再発見する活動も活発になりました。その中で、福岡・博多という「まちのイメージ」の形成に大きな影響を与えたのが、福岡市出身のグラフィックデザイナー・西島伊三雄（1923-2001）の仕事でした。西島伊三雄は数多くの企業ロゴマークや商品パッケージ、広告などを手がけ、とくに福岡市地下鉄の各駅のシンボルマークは有名です。彼の代名詞とも言える「童画」を含む西島デザインは、今や「福岡の顔」ともいえる存在です。この講演会では、西島伊三雄の仕事とそのデザイン哲学を通じて、福岡の都市のイメージ形成に与えた影響を振り返りながら、転換期にある福岡のこれからを考えます。

### 講師紹介



#### 西島雅幸（にしじま・まさゆき） 「西島伊三雄が残したもの」

博多町人文化連盟 理事長／博多仁和加振興会 会長  
1949年福岡市生まれ。高校卒業後、1968年に父である西島伊三雄主宰「にしじまアトリエ」に入社。福岡市地下鉄七隈線各駅マーク制作やデザイン展で各賞を受賞。1985年「株式会社アトリエ童画」を設立。



#### 武田義明（たけだ・よしあき） 「図案屋からグラフィックデザイナーへ」

ギャラリー風 代表／福岡文化連盟 理事  
／アジア美術家連盟日本委員会 委員  
1949年福岡市生まれ。九州芸術工科大学卒業。京都工芸繊維大学大学院工芸研究科 修士課程修了。  
著書は、「福岡現在芸術ノート」（花書院、2021年）など。



#### 大庭香代子（おおば・かよこ） 「教育者としての西島伊三雄」

専門学校日本デザイナー学院九州校 校長  
1945年福岡県生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。専門学校日本デザイナー学院九州校副校長を経て現職。  
鍋島緞通のデザインと制作を手がける。公募展・個展・グループ展など。



#### 古川智史（ふるかわ・さとし） 「福岡の広告産業の特質」

松本大学大学院総合経営研究科・総合経営学部 専任講師  
1986年新潟県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。同学術研究員、松本大学総合経営学部専任講師を経て、現職。  
著書は、共著『新経済地理学概論』（原書房、2022年）など。



#### 有馬 学（ありま・まなぶ） シンポジウム「西島伊三雄と都市福岡のデザイン」ファシリテーター

九州大学 名誉教授／福岡市博物館 総館長／福岡市史編集委員会 委員長  
1945年、北京生まれ。東京大学大学院博士課程満期退学。専攻は日本近代史。九州大学大学院教授などを経て、2012年より現職。2005年、福岡市史編集委員会立ち上げとともに委員長に就任。  
著書は、共著『福岡県の近現代』（山川出版社、2021年）など。



### 申込方法

ご希望の方は、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

#### 1. 往復ハガキ（1枚で2名まで） ※2月17日消印有効

往信・返信に必要事項をご記入の上、下記の申込先までお送りください。

- 往信ハガキ：氏名・住所・電話番号 ※2名の場合は氏名のみ2名分記入してください。
- 返信ハガキの宛先：申込者（代表者）の郵便番号・住所・氏名
- 申込先：〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1 福岡市博物館 市史編さん室 市史講演会係

#### 2. メールフォーム（1回で2名まで）

「福岡市史ホームページ」内の申し込みフォームからご応募ください。



※メールアドレスが必要です。

#### 3. メールでの申し込み（1通で2名まで）

PCまたは携帯メールにて、下記の必要事項を入力して申込先メールアドレス宛にお送りください。

- メールタイトル：「市史講演会申し込み」 ■ 本文：申込者の住所・氏名・電話番号・メールアドレスを記載 ※2名のご参加をご希望の場合は、メールの内容に同行者のご氏名も入力ください。 ■ 申込先：shishi.EPB@city.fukuoka.lg.jp ※携帯メールからお申し込みになる場合は、市史編さん室からの回答メール（2000字程度のテキストメール/当日の入場券を兼ねる）が受信できる機種に限りです。

**申し込み締め切り：2023年2月17日（金） ※ハガキの場合は同日の消印有効**

### 抽選結果

お申し込みいただいた方全員に、2023年2月24日前後にハガキまたはメールにてお知らせいたします。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、プログラムの変更やインターネットでの配信のみの実施に変更する場合があります。変更については福岡市史や福岡市博物館のホームページ等でお知らせいたします。



福岡市史ホームページ  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>



福岡市博物館ホームページ  
<http://museum.city.fukuoka.jp>

【お問い合わせ】

福岡市博物館 市史編さん室／電話：092-845-5245

